

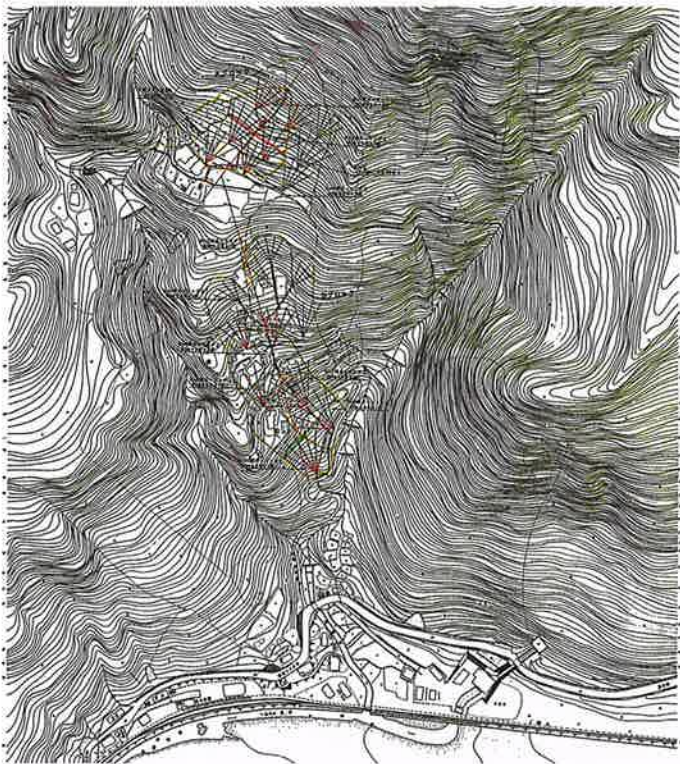


◀ 民家裏地すべり発生1棟半壊



水路工整備状況 ▶

工 事 概 要				事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,700m	土留工	L=25m	240,000
水路工	L= 202m			
抑止杭工	L=22.0~27.5m	37本		



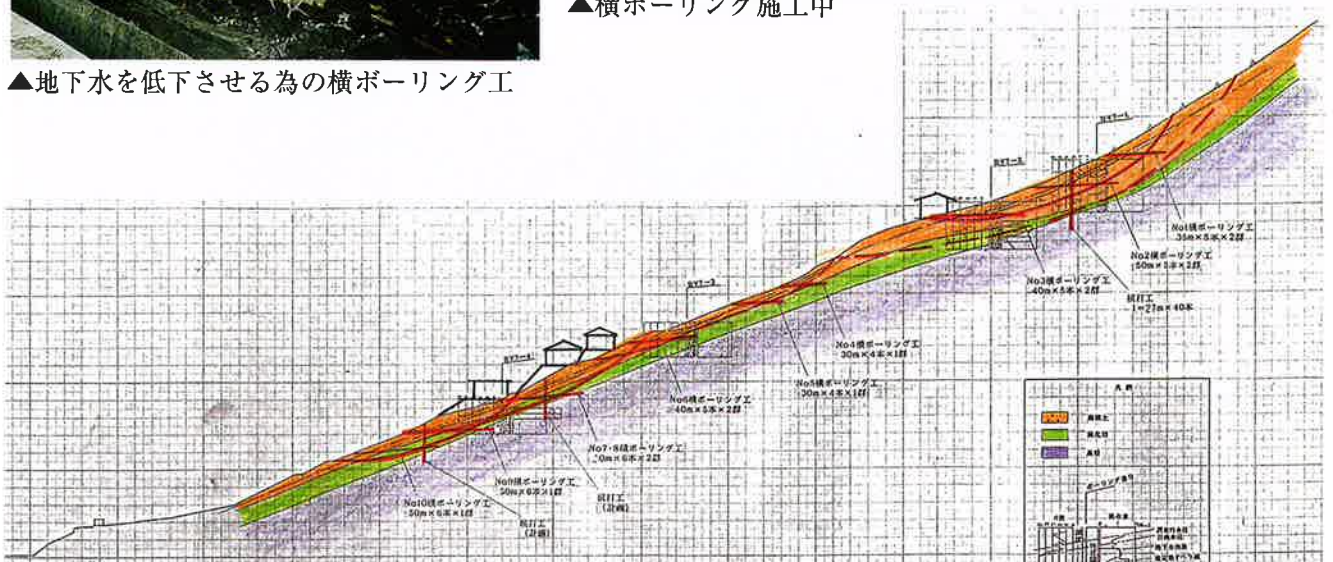
▲鋼管杭建込状況



▲地下水を低下させる為の横ボーリング工



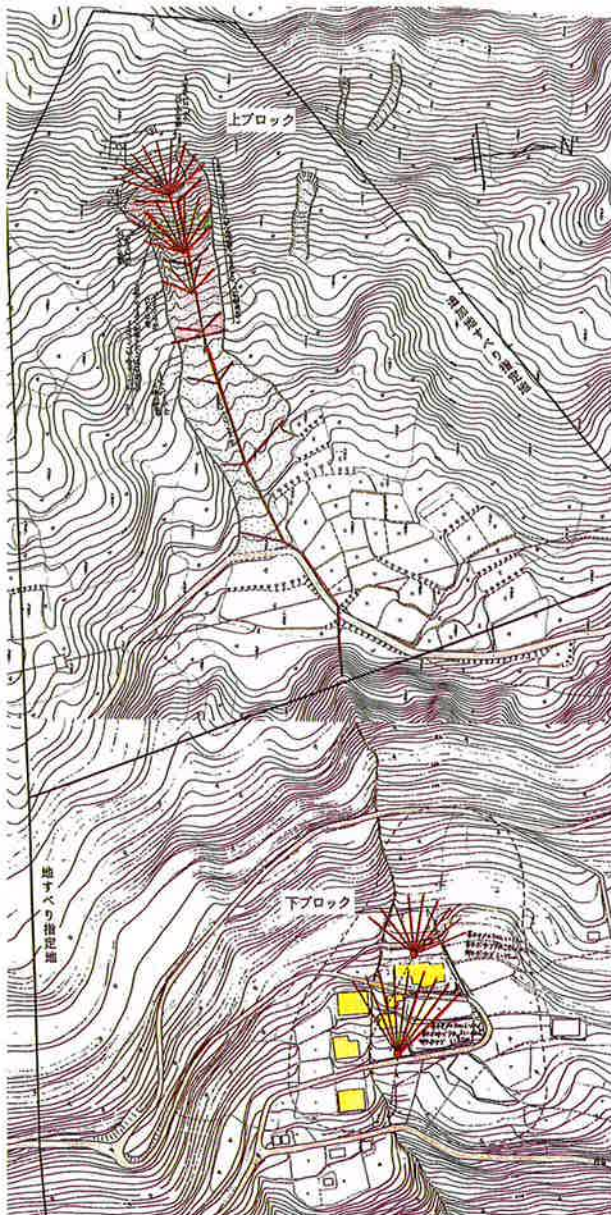
▲横ボーリング施工中





工事概要		事業費 (千円)
集水井工	2基	150,000
横ボーリング工	L=395m	
水路工	L=201m	
土留工	L= 35m	
法面工	A=4,300m ²	

来馬



▲集水ボ-リング施工



▲集水井完成



▲被災当時



▲完成後

清水山



▲被災直後の状況



▲滑落崖
上部に民家がある



▲民家脇に崩落してきた土砂



◀泥流化状況

清水山



▲完成した法砕工



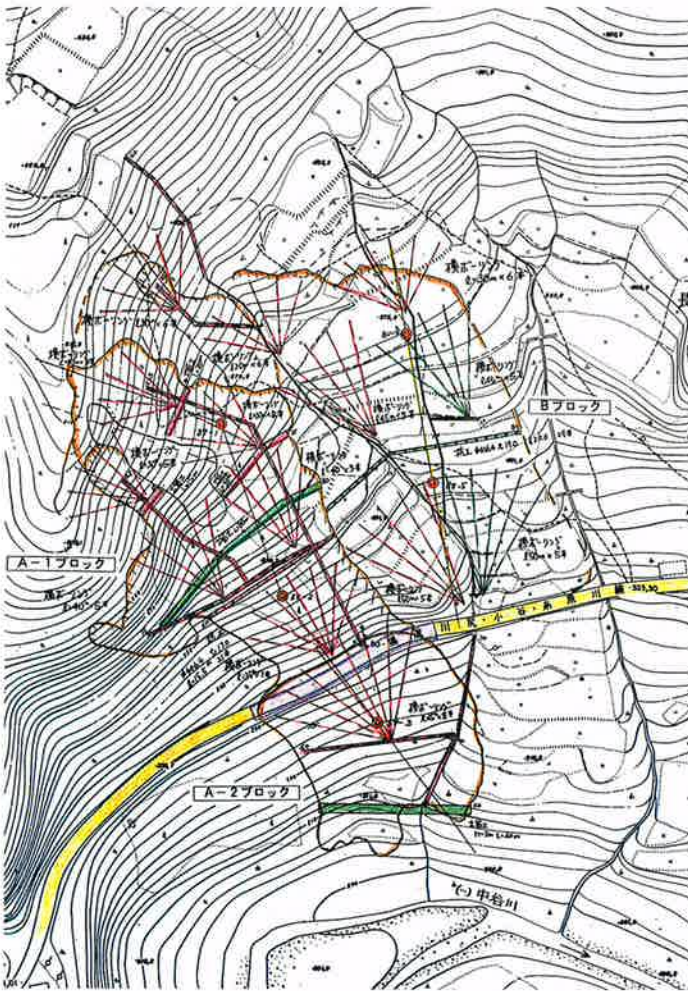
▲完成した集水井



▲嵩上げの終わったコンクリートブロックダム

工 事 概 要				事業費 (千円)
集水井工	3基	土留フトン竈工	7基	630,000
横ボーリング工	L=325m	流路工	L=178m	
水路工	L=844m	アンカー工	57本	
吹付法砕工	A=1,097m ²	ダム嵩上げ工	L=104.0m H=1.6m	
鋼製土留工	10基			

白岩



▲地すべり状況



▲水路工及び横ボーリング



▲鋼管杭建込状況

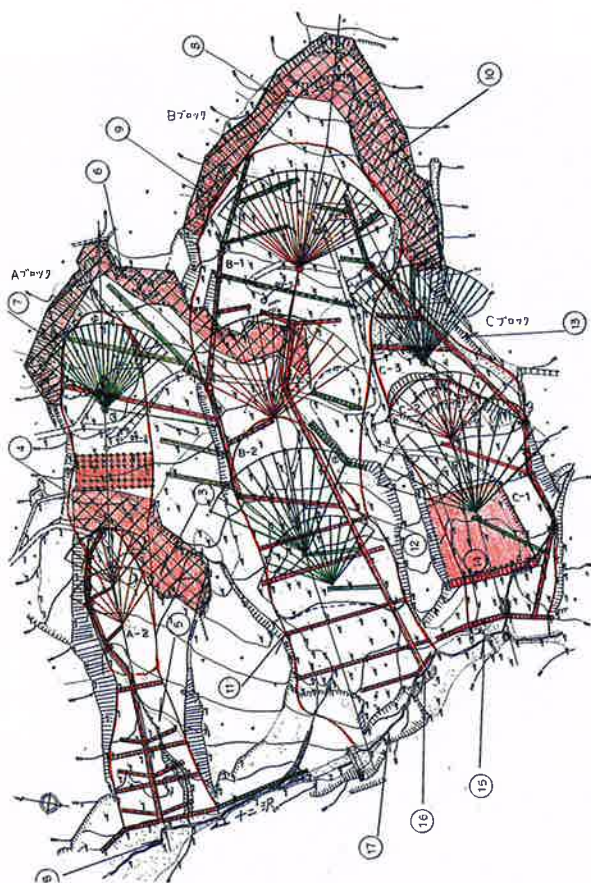
工事概要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L=2,002m	165,000
水路工	L= 580m	
抑止杭工	L=11.5~18.0m 31本	



◀ 城地すべり崩壊状況



地すべり対策工事施工状況 ▶



▲深く井戸を掘り横ボーリングにより水を抜く 集水井工内部



▲土砂の崩壊を防ぐため設置した 鋼製自在枠土留工



▲地すべり抑止のアンカー工完成



▲施工後の法面自在法枠工

工 事 概 要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L= 504m	540,000
水路工	L= 30m	
集水井工	3基	
吹付法枠工	A=7,800m ²	
アンカー工	60本 16.5~23.5m	
土留工 鋼製枠(H3.0~4.0m)	L=187.0m	



▲長崎地区

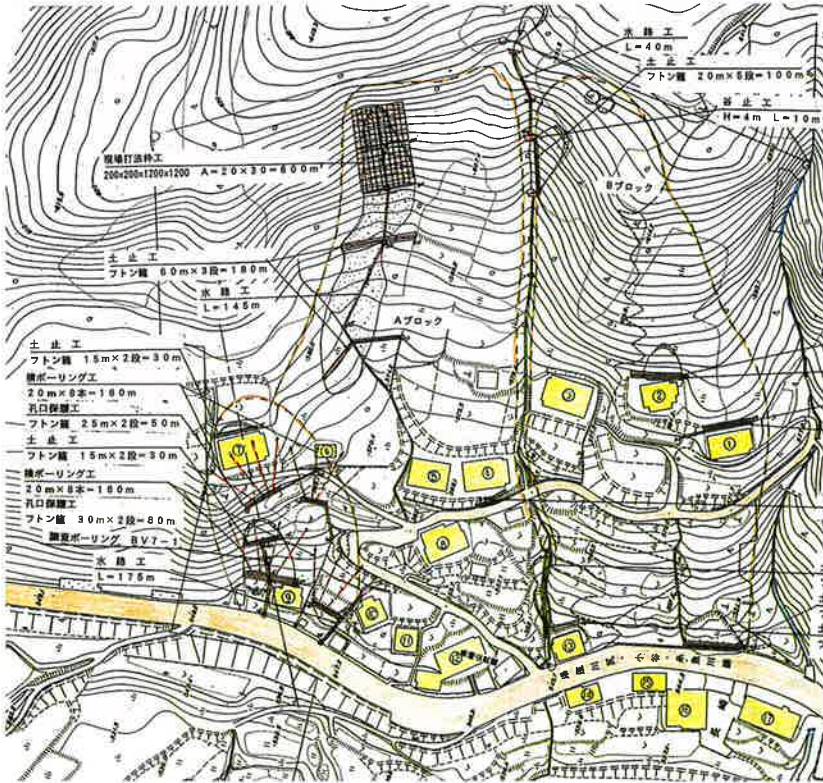
谷部崩壊 ▶



▲末端押し出しにより土蔵の倒壊

工 事 概 要				事業費 (千円)
横ボーリング工	L=638m	水路工	L=471m	90,000
山腹工(法枠工)	A=632m ²	土留工	L= 94m	
		床固工 2基		

長崎



▲フトンカゴによる法留工



▲明暗渠工完成



▲法枠工完成



▲水路工植生ネット張完成

半坂

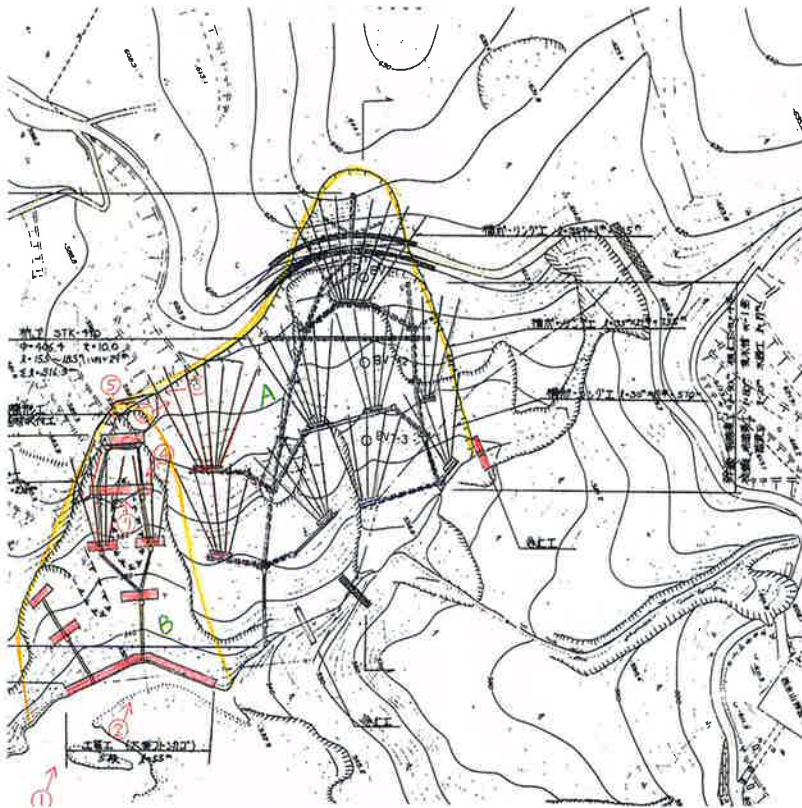


▲地すべり中腹



▲地すべり末端部

半坂



▲抑止杭打込



▲集水ボーリング削孔



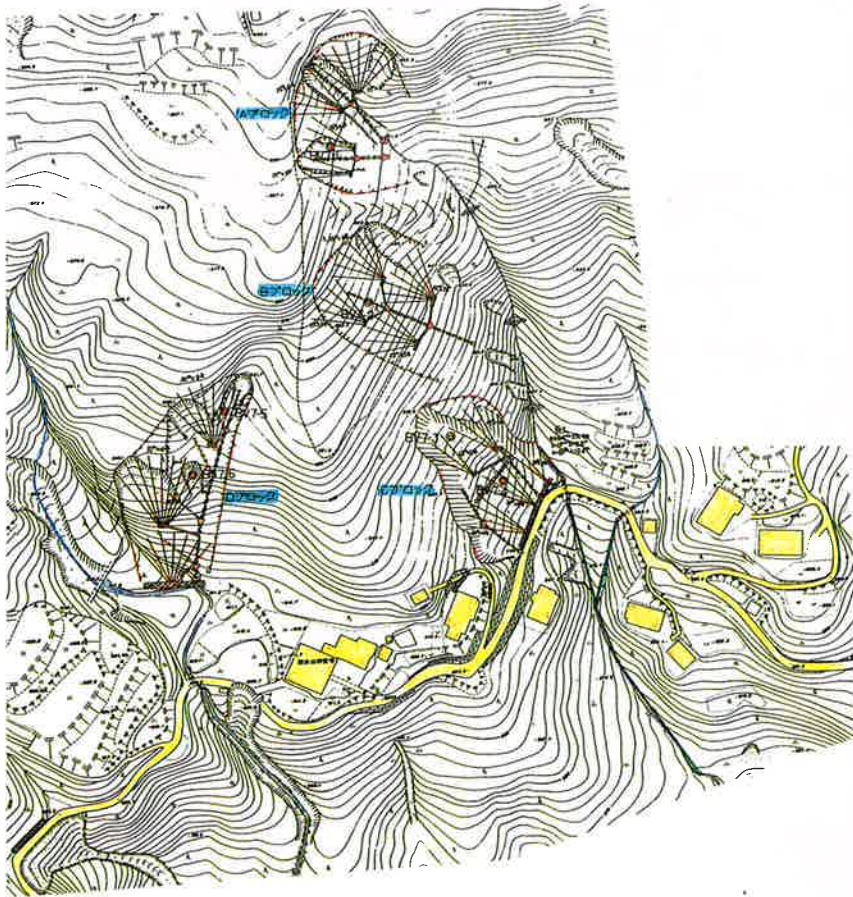
▲排水路完成



▲谷止工完成

工事概要		事業費(千円)
横ボーリング工	L=1,529m	162,000
水路工	L= 488m	
谷止工	1基	
抑止杭工	L=15.5~18.5m 29本	

塩の久保



▲鋼管杭建込作業状況



▲崩壊状況



▲民家裏 崩壊対策

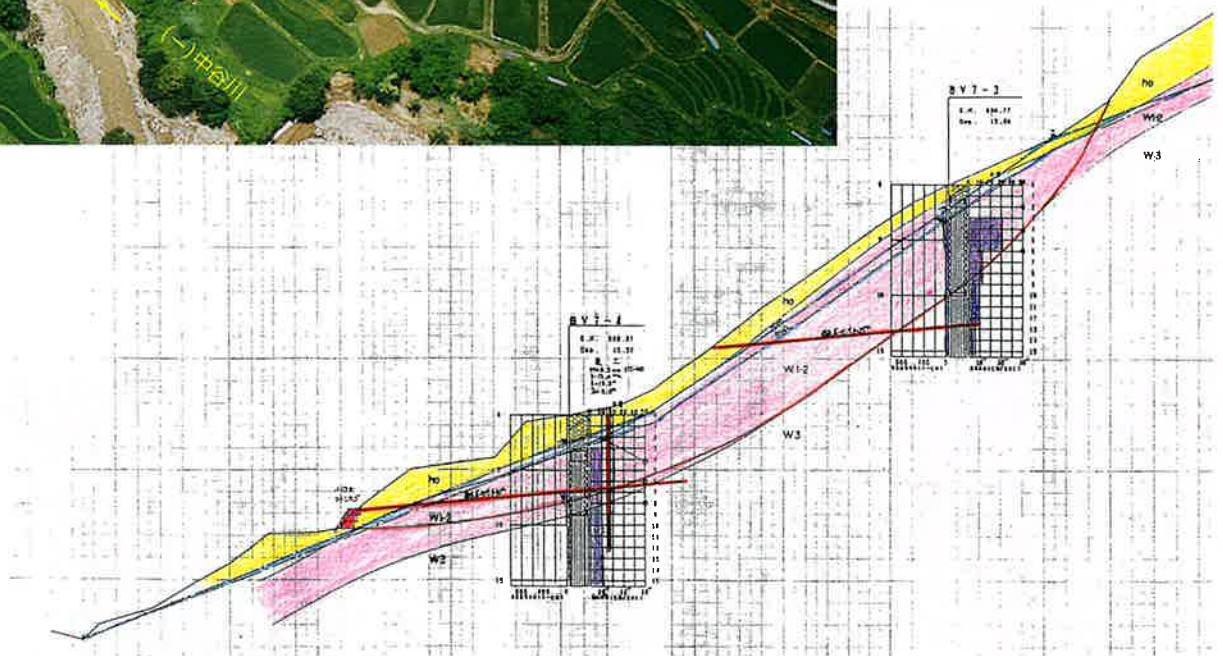


▲地下水低下を目的とする横ボーリング



▲水路整備状況

塩の久保



工事概要			事業費 (千円)
横ボーリング工	L= 2,375m	谷止工 2基	168,000
抑止杭工	L= 13.0m 15本		
水路工	L= 314m		

市場2号



▲被災時 あちこちに被害状況が見られる

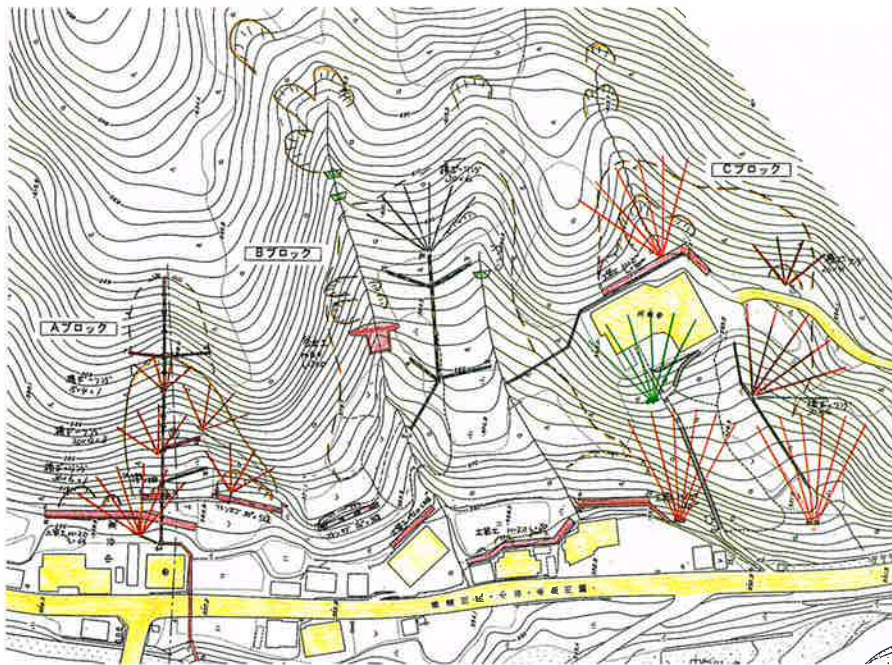


▲崩壊状況

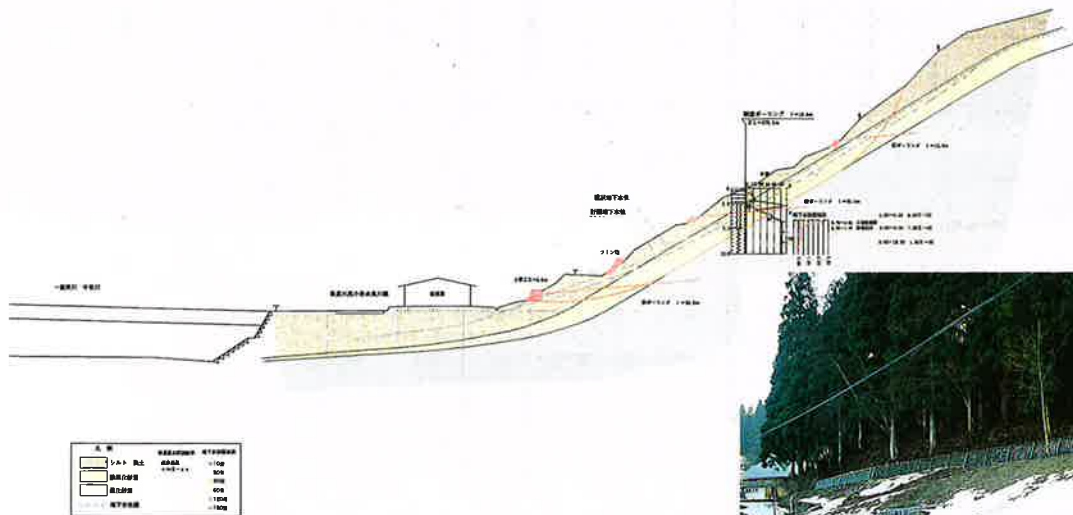


▲田畑に押し出した土砂

市場 2 号



▲水路工



▲郵便局裏 土留工



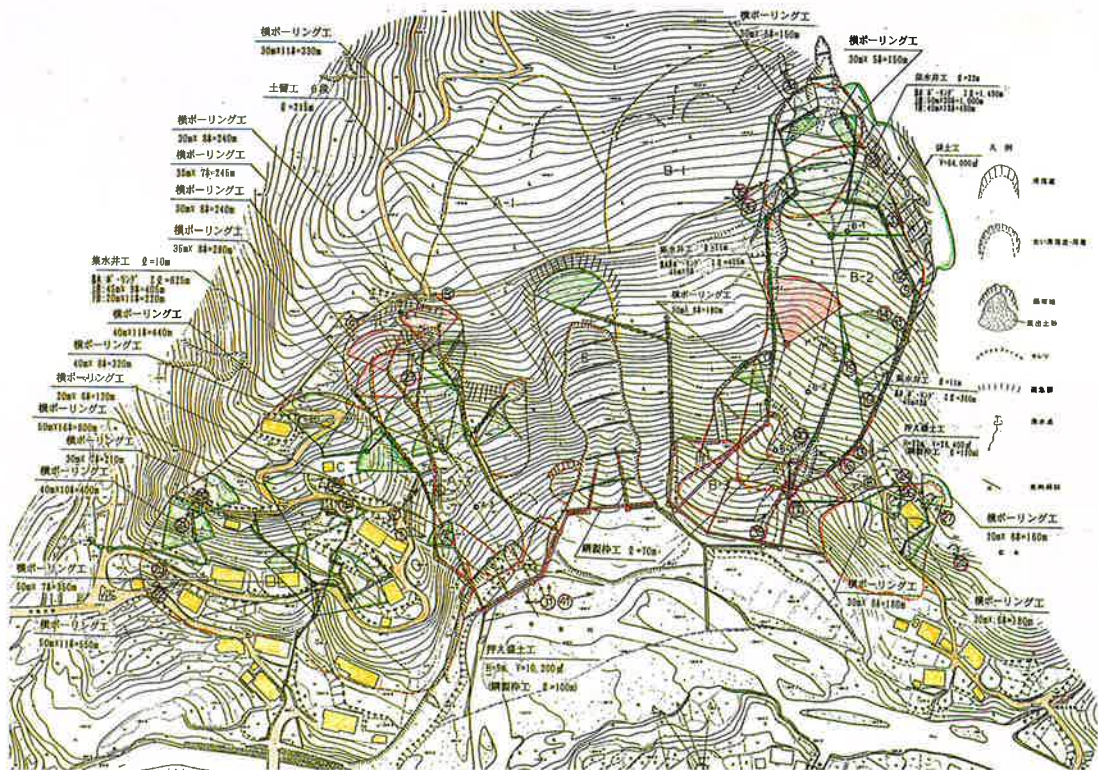
▲谷止工施工箇所



▲谷止工完成

工 事 概 要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,781m	135,000
土留工	L= 148m H=2.0m	
水路工	L= 382m	
	谷止工 1基 H=6.0m	

八方岩



八方岩



▲着工前



▲盛土状況



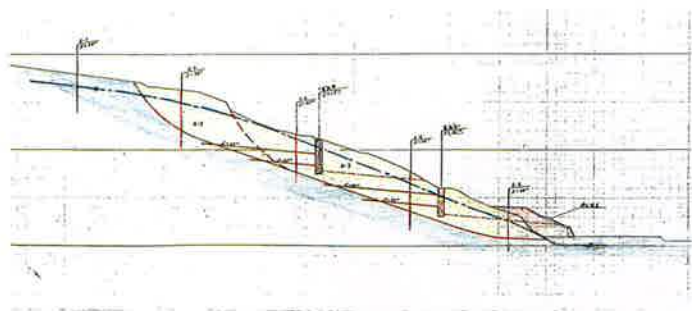
◀ 37,500m³の押え盛土法面工完了



▲土留施工状況



▲集水井 9本の集水ボーリングの先から水が落ちる



工 事 概 要				事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,130m	押え盛り土	37,500m³	180,000
集水井工	1基			
土留工(H=2.0~3.0m)	L= 284m			
水路工	L= 310m			

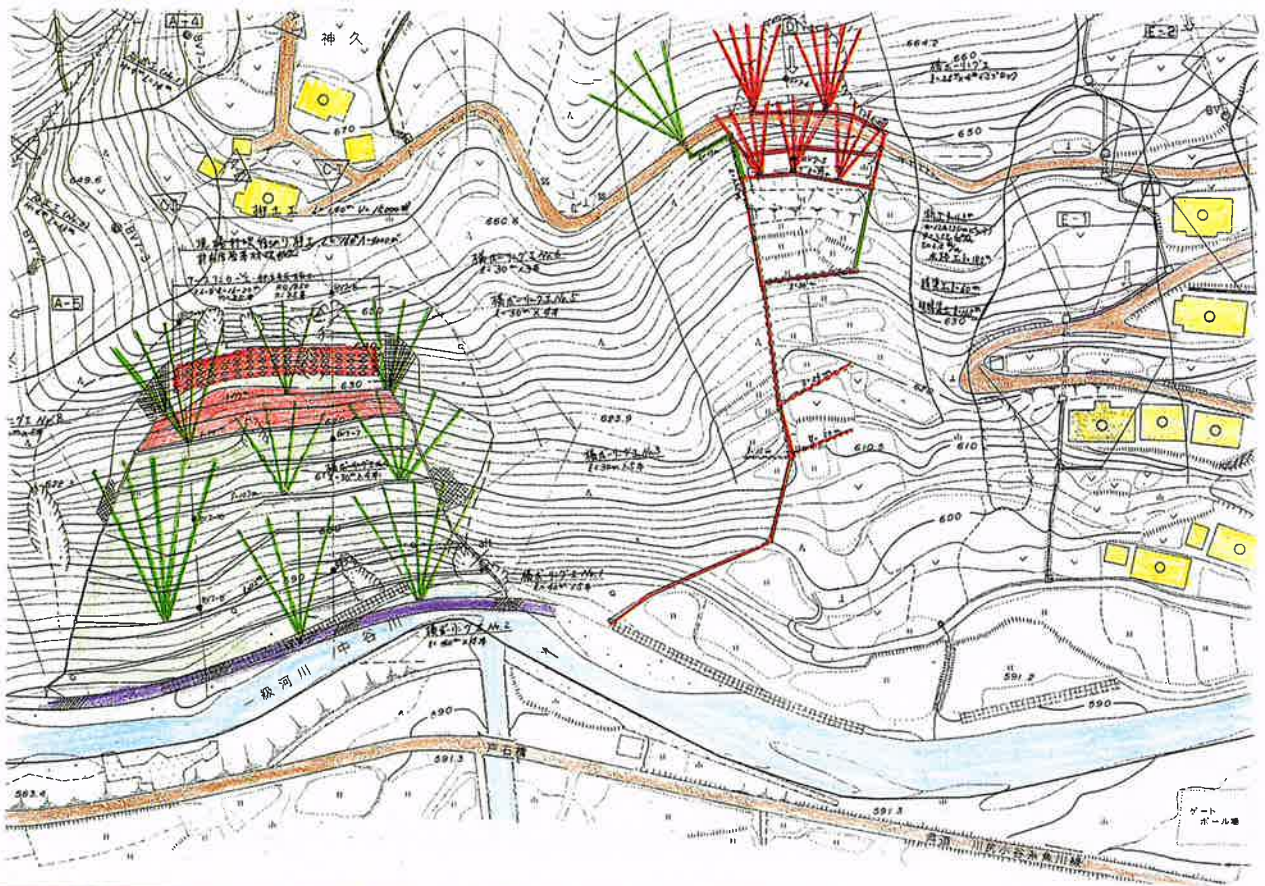


▲崩壊性地すべり



▲復旧後

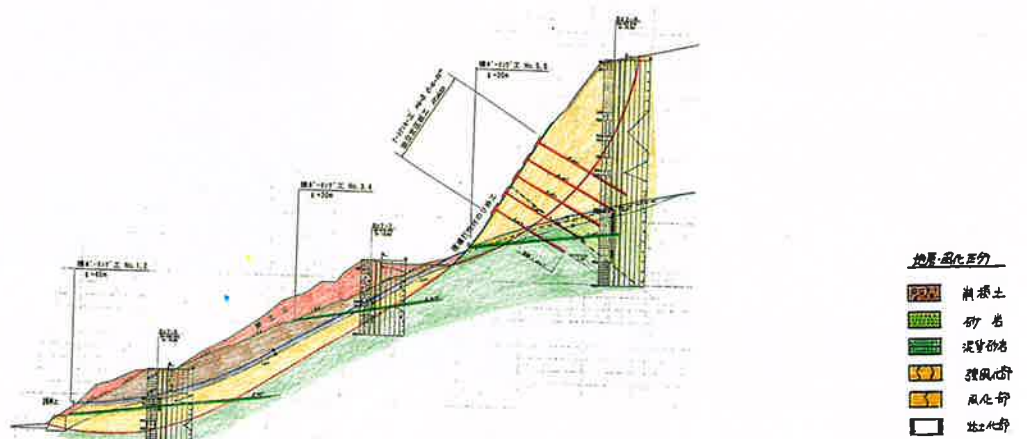
工事概要			事業費 (千円)
アンカー工	L= 16.0~20.0m	85本	270,000
排土工	V= 13,000m ³		
水路工	L= 457m		
横ボーリング工	L= 650m		
抑止杭工	L= 11.5~12.5m	22本	



▲アンカー定着完了



▲工事中作業状況



葛草連



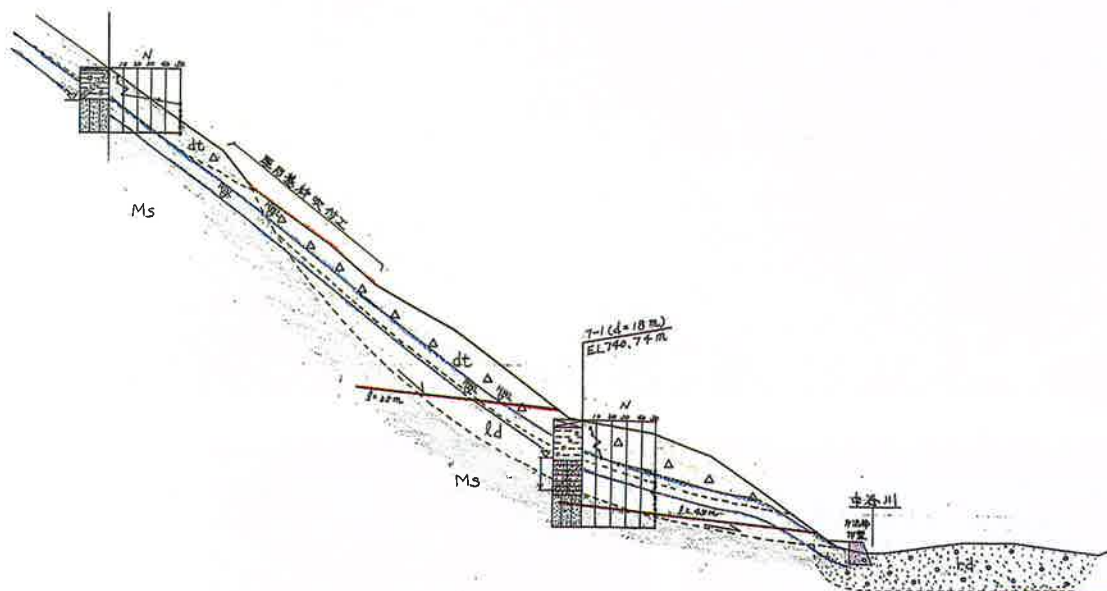
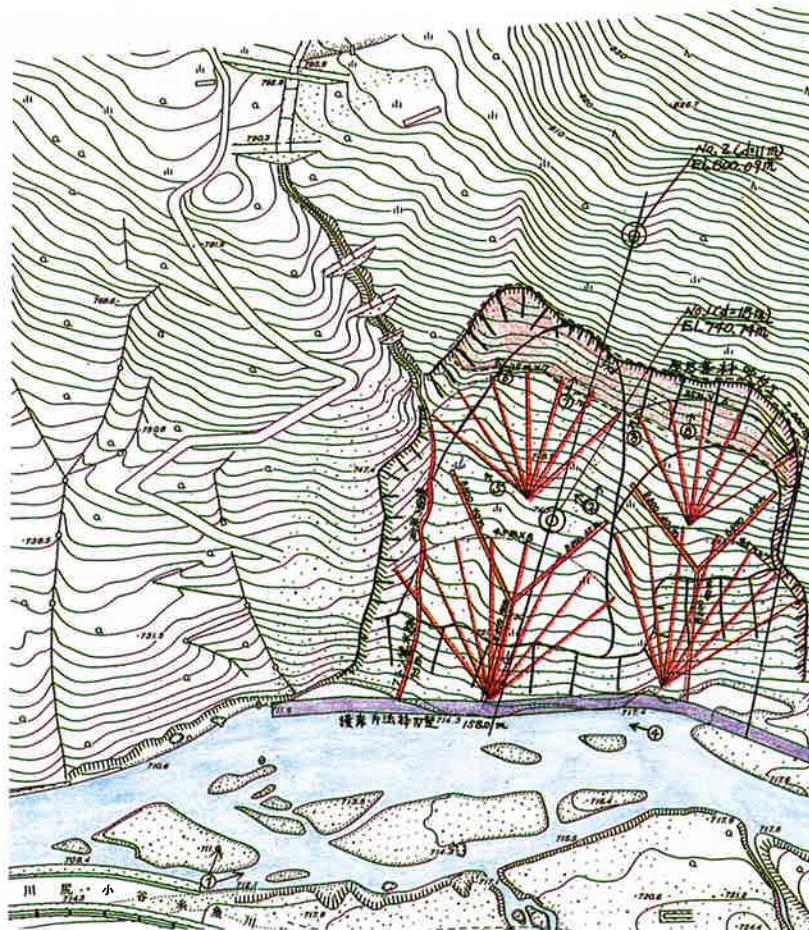
▲被災状況



▲地すべり末端部

工 事 概 要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,107m	90,000
水路工	L= 309m	
法面工	A=4,100m ²	

葛草連



横ボーリング状況 ▶



池原

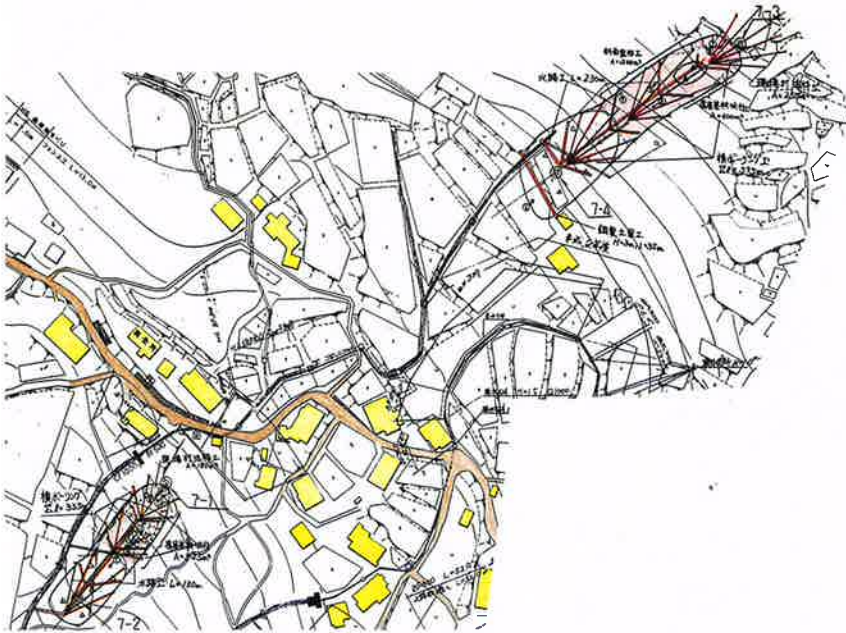


▲災害直後地すべり状況



▲地すべり対策工事完成

池原



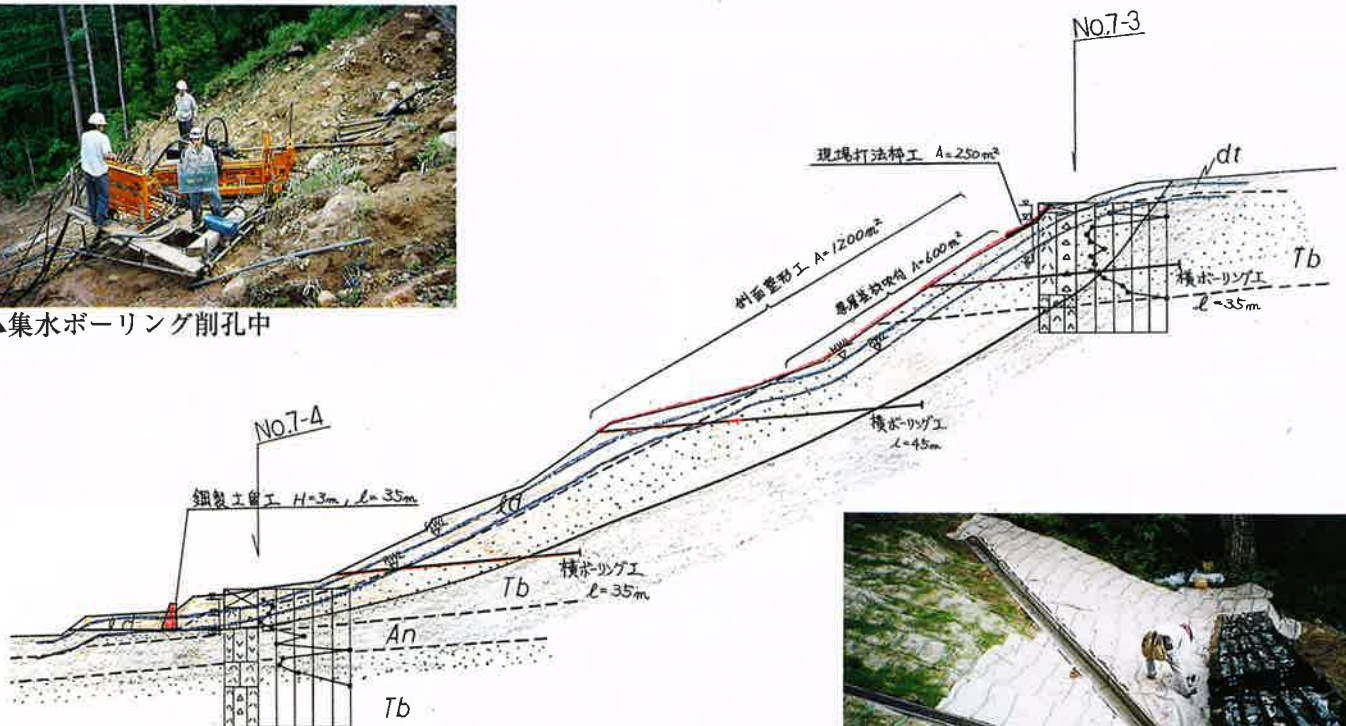
▲地すべり頭部



▲法面工完成



▲集水ボーリング削孔中



▲法面保護工施工中

工事概要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,075m	90,000
水路工	L= 292m	
法面工	A=3,460m ²	
土留工	L= 27m H=3.0m	



▲民家に押し出した土砂

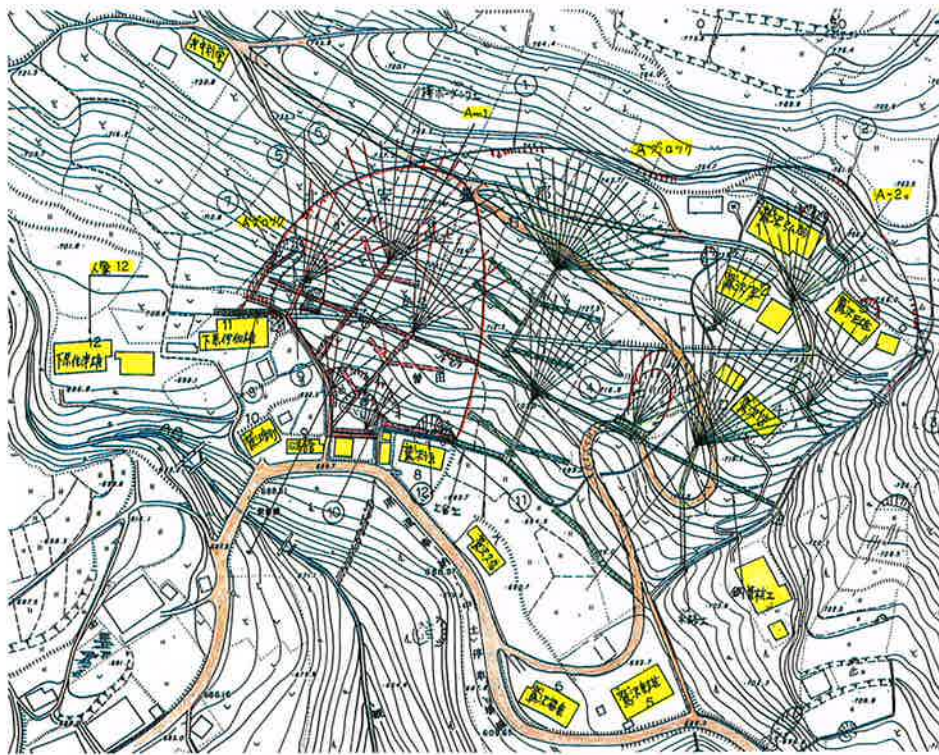


▲地すべり中央部 すべり状況



▲地すべり頭部 すべり状況

曾田



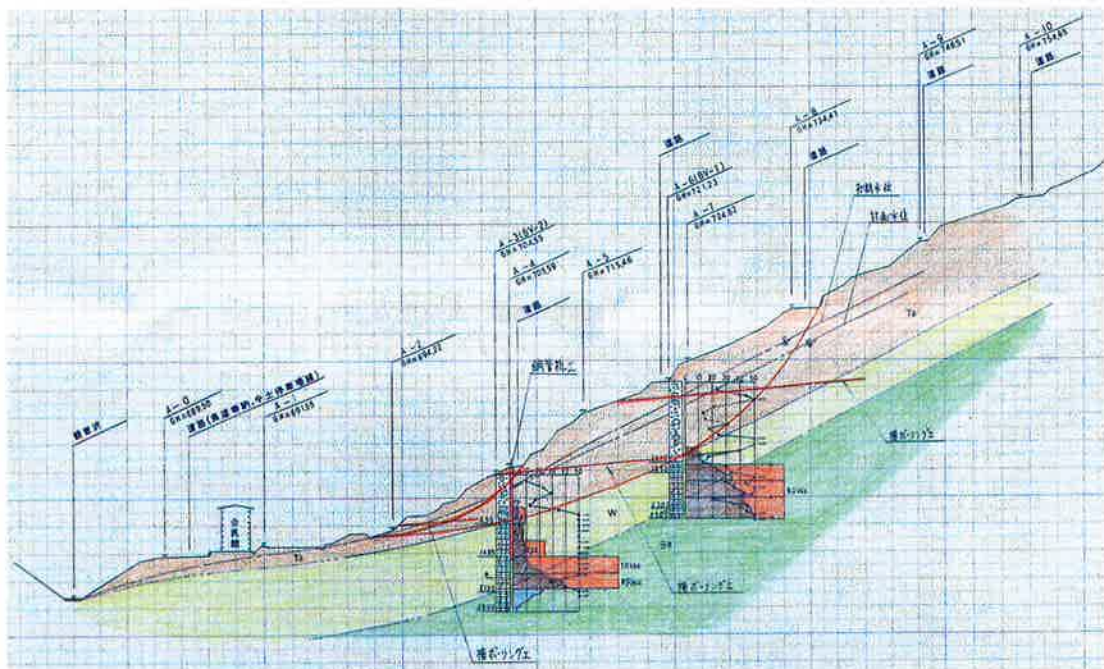
▲排水路工完成



▲水路工及び横ボーリング工完成



▲民家裏土留工完成



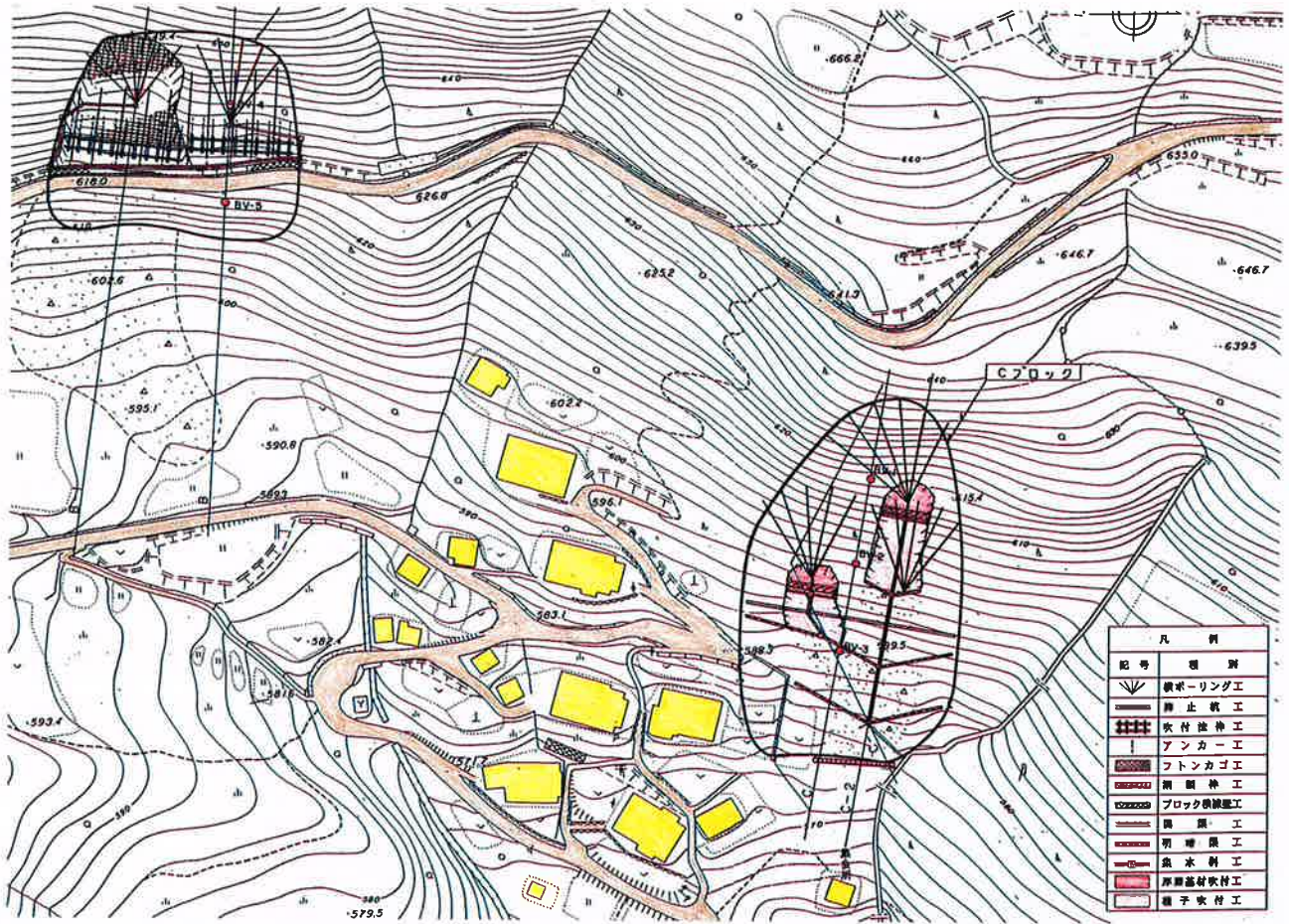
工事概要				事業費 (千円)
横ボーリング工	L=1,481m	土留工	L=56m	120,000
水路工	L= 302m			
抑止杭工	L=14.5~20.0m	32本		



▲法面崩壊状況



▲法枠工完成



▲法枠モルタル吹付



▲横ボーリング削孔



▲横ボーリング完成

工事概要				事業費(千円)
横ボーリング工	L=1,095m	法面工	A=350m ²	90,000
法枠工	A=997m ²	土留工	L=62m	
水路工	L=194m			

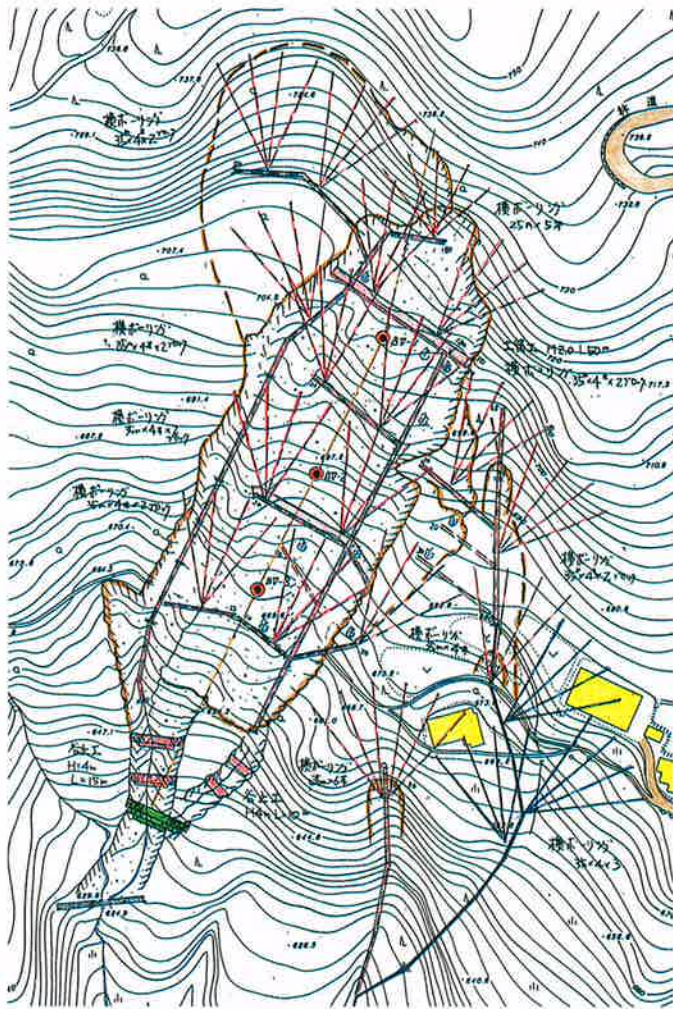


▲地すべり発生後の末端部の状況



▲崩壊した土砂の下流への流出を防ぐ谷止工

大久保



▲土砂を止めることを目的に施工した鋼製自在枠土留工



▲地すべり中間部に設置した鋼製自在枠土留工



▲水路工及び横ボーリング完成



▲地下水の排出を目的に施工した横ボーリング工

工 事 概 要		事業費 (千円)
横ボーリング工	L=2,179m	165,000
鋼製土留工	L= 92m	
水路工	L= 653m	
谷止工(鋼製)	H= 4.0m 2基	
谷止工(コンクリート)	H= 4.0m 2基	

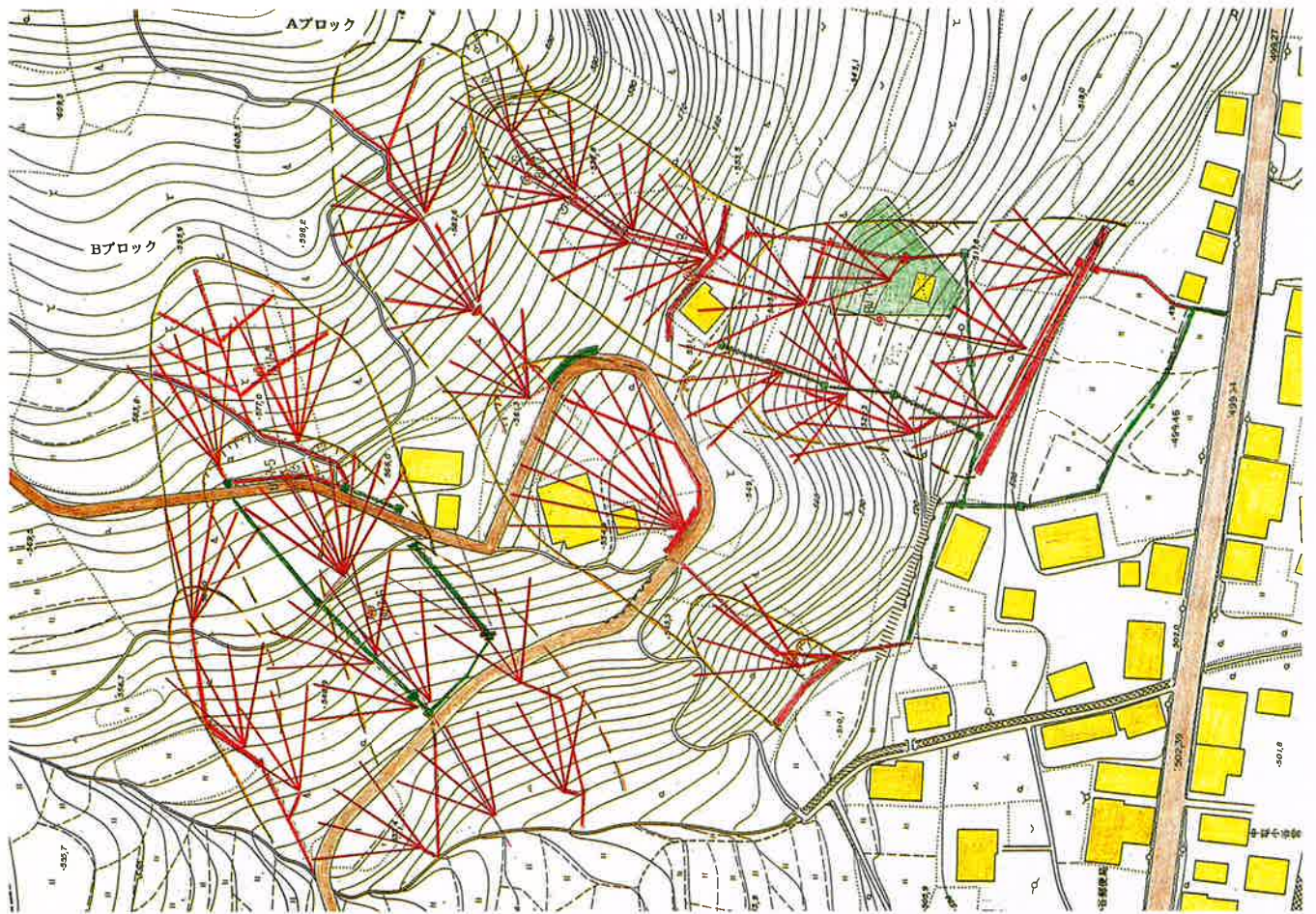


▲地すべり頭部より下方

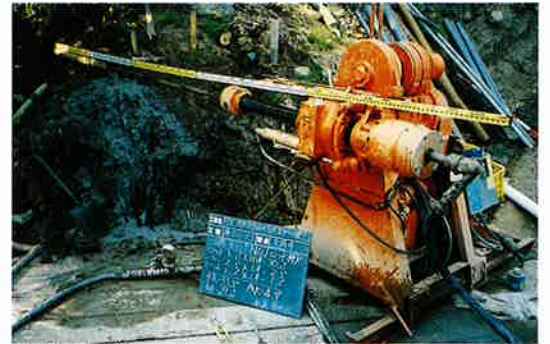


▲地すべり中腹

北雨中



▲排水路工完成



▲集水ボーリング施工



▲集水ボーリング完成

工 事 概 要				事業費 (千円)
横ボーリング工	L=2,921m	土留工	L=44.7m	120,000
水路工	L=401m			



▲崩壊性地すべり



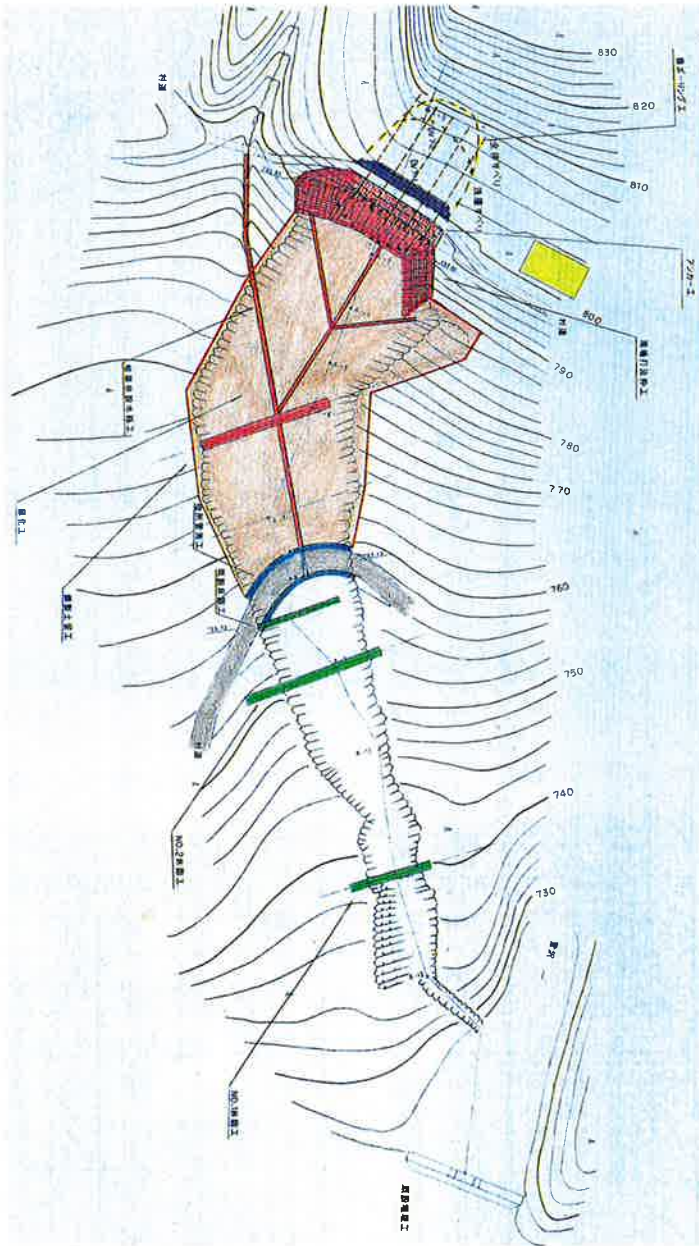
▲土砂及び立木流出



▲法枠、アンカー、水路完成

工 事 概 要				事業費 (千円)
アンカー工 法枠工	L=17.5~24.0m A= 653m ²	30本	水路工	L=191m 90,000

二百地



▲アンカー確認試験中



▲アンカー削孔状況



▲法枠工、命綱により施工中



▲アンカー、法枠により法面を安定させる



▲土砂崩壊に伴い民家半壊

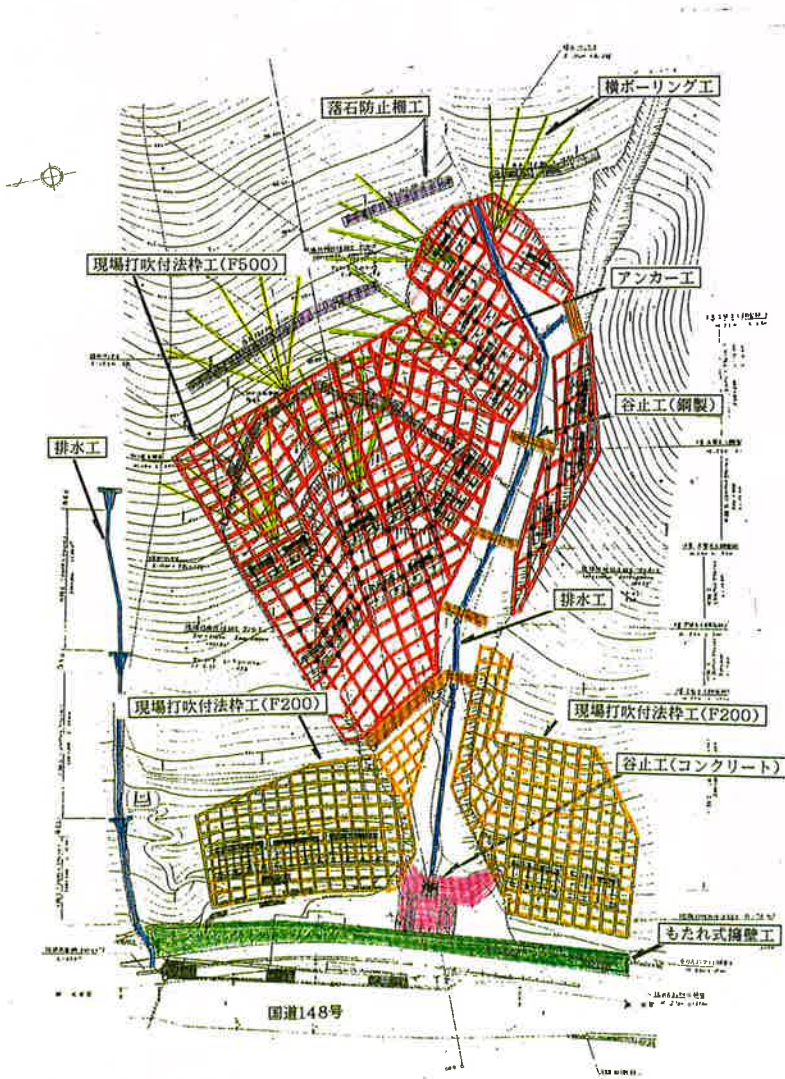


▲国道148号及び北小谷駅前土砂埋塞



▲J R 大糸線線路埋塞

工 事 概 要				事業費 (千円)
崩壊防止工				354,000
横ボーリング工	L=519.5m		アンカー工 L=7.5~10.5m 84本	
現場打吹法砕工	500(3,000×3,000)	2,043m ²	擁壁工 H=3.7m L=57m	
現場打吹法砕工	200(2,000×2,000)	892m ²		
ロックボルト工	L=3.0m	229本		



▲着手前



▲法枠施工中



▲夜間照明によるイメージアップ



▲法枠完成

地元小学生が願いを込めて



7月11日・12日に起きた梅雨前線豪雨により被災した多くの溪流を災害復旧事業や災害関連緊急砂防事業により、復旧・復興を行っています。

この工事に当たり完成する砂防ダムや床固工に名前が付けられ堰名板に刻まれます。

この刻まれる文字を「大人になっても壊れることなく災害から土地や人々を守ってくれるように」と願いを込めて地元の小学生に書いていただきました。

■長野県姫川砂防事務所職員

平成7年度

所 長 菅沼 昭彦

庶務課

庶務課長 篠原 豊
 出納員
 庶務係長 松沢 茂
 主 査 西沢 淳子
 主 事 白井 幸夫
 主 事 和田 良仁(H7.9.1～)
 主 事 橋本 健児(H7.9.1～)
 主 事 水野 宗雄
 主 事 城取 正幸
 主 事 曾根原 実

工務課

副参事
 工務課長 二木 永和
 課長補佐
 工務第一係長 松本 久志
 技 師 高野 俊一郎
 技 師 高松 義雄
 工務第二係長 望月 守
 技 師 小林 久夫
 技 師 若林 武彦
 課長補佐
 工務第三係長 金子 政利
 主 査 森田 敏彦
 技 師 茂木 恵太
 課長補佐
 工務第四係長 古林 利保(H7.9.1～)
 技 師 上原 勝 (H7.9.1～)
 技 師 伊藤 政彦(H7.9.1～)
 技 師 青木 伸治(H7.9.1～)
 工務第五係長 野村 幸男(H7.9.1～)
 技 師 加藤 裕之(H7.9.1～)
 技 師 丸山 真 (H7.9.1～)

平成8年度

所 長 菅沼 昭彦

庶務課

庶務課長 篠原 豊
 課長補佐・出納員
 庶務係長 柳沢 弘基
 主 査 西沢 淳子
 主 事 白井 幸夫
 主 事 保科 英敏
 主 事 和田 良仁
 主 事 橋本 健児
 主 事 水野 宗雄

工務課

工務課長 森田 剛弘
 課長補佐
 工務第一係長 松本 久志
 技 師 高松 義雄
 技 師 後藤 謙一
 工務第二係長 小林 秀樹
 技 師 小林 久夫
 技 師 網川 浩章
 課長補佐
 工務第三係長 金子 政利
 主 査 森田 敏彦
 技 師 茂木 恵太
 課長補佐
 工務第四係長 古林 利保
 技 師 上原 勝
 技 師 伊藤 政彦
 技 師 青木 伸治
 工務第五係長 野村 幸男
 技 師 加藤 裕之
 技 師 丸山 真



▲土石流がJR大糸線を直撃 小谷村常蔵沢



▲平成8年度～砂防激特事業完成予想図



長野県姫川砂防事務所
〒399-94
北安曇郡小谷村大字千国乙10307-3
TEL 0261-82-3100
FAX 0261-71-7003

